

平成29年度 大阪府立城東工科高等学校 第1回学校協議会（報告）

○開催日時：平成29年5月24日（水）15：00～16：30

○開催場所：大阪府立城東工科高等学校

ユニバーサルデザイン棟2階 プレゼンテーションルーム

○出席者

委員5人（敬称略）

大石 利光：大阪電気通信大学 学長

上田 順治：上田容器株式会社 会長

山田 茂：株式会社山田製作所 社長

西口 眞弓：本校 PTA 会長

野寄 奈美子：本校 PTA 副会長

本校職員17人

○内容

1. 校長挨拶

①協議会委員の欠員と補充について

2. 委員・事務局紹介

3. 協議

①入学者アンケート集計結果について

②学校経営計画について

③その他

○協議概要

①入学者アンケート集計結果について

<報告>

- ・受験理由として、「工業に関する勉強をしたかったから」が全体の80%
- ・全体の1/4の生徒が、入学前に普通科、他の工業高校を考えていた
- ・どの系、専科を選択したいかを考えている生徒が、全体の80%
- ・特別入学選抜は93%の生徒が受験していない→城工を希望して入学している

<協議>

特別入学選抜を受けていないことが必ずしも城工を希望していることにはならない、93%はあくまで、特別選抜を受けていない割合で、塾や中学校の先生に言われるままに城工に来た生徒もいるのではないかと。

→希望せずに入学した生徒には、フォローが必要である

②学校経営計画について

<報告>

- ・ 首席、指導教諭の職務、校務分掌について
- ・ 特別支援教育コーディネーターの設置、副担任制の導入について
- ・ 外部連携事業について
- ・ 資格取得支援について
- ・ 競技会等への参加について

<協議>

- ・ 事業計画をしっかりと立てて、そのとおりに実行することが重要である
- ・ 高校は個人情報をもどのように保護しているのか
→ 範囲を決めてどの場所にあるのかがすぐにわかり、すぐに出すことができるようにしなければならない。
- ・ ほとんどの生徒が奨学金を利用して、進学するが就職して、月給20万円ないような給料で支払うのは大変である
→ 色々な制度を使って負担を軽くする必要がある。
- ・ 保護者対応について、現状自分の子の悪いところを棚上げし、先生に責任を求めることが増えてきている
→ 若い先生は大変だが、学ばなければならない

③その他

- ・ 最近ではコンピュータの授業を小学校4年生で行っている
→ 学ぶ内容が下の学年に移っていくことで高校で学ぶ内容がこれから難しくなっていくことが予想される。小中高が繋がった教育を行えると良い。
- ・ 企業と学校で協力して、入学前の生徒、保護者を連れて企業に行き、どのような仕事をできるようになるのかを体験・実感させると良いのではないかと
→ 他校で行われており、城工でもやることが望ましいと感じている。
- ・ 7/21に中小企業魅力発見フェアが実施される

○次回開催：平成29年10月11日（水）15：00～16：00を予定